

科目名		授業形態	担当教員名	
内科学Ⅱ		講義	吉川 鑑	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	通年
授業の概要・目的				
前半は、神経学の基礎である解剖と基本的機能を中心に講義する。後半は、前半で学習した神経学の基礎を基にして、神経内科学、脳神経外科学の代表的な疾患について講義する。講義の進め方としては復習・確認をしながら進めていく予定である。				
授業の到達目標				
臨床工学技士の業務に必要な脳神経系の構造及び、脳神経疾患の病態生理を理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	オリエンテーション 神経学の学び方		16	脳血管障害（Ⅰ） 梗塞系
2	中枢神経と末梢神経系		17	脳血管障害（Ⅱ） 出血系
3	大脳（Ⅰ） 大脳皮質の機能局在		18	脳腫瘍（Ⅰ） 良性
4	大脳（Ⅱ） 大脳基底核、大脳辺縁系		19	脳腫瘍（Ⅱ） 悪性
5	脳幹 中脳、橋、延髄の構造と働き		20	頭部外傷
6	小脳 構造とその働き		21	感染症
7	脳循環 血管について		22	変性疾患（Ⅰ） パーキンソン病
8	脳脊髄液循環 産生と吸収について		23	変性疾患（Ⅱ） 脊髄小脳変性症、ALS
9	脊髄神経 末梢神経について		24	脱髄疾患
10	自律神経 交感神経と副交感神経について		25	末梢神経疾患
11	意識障害 JCSについて		26	筋疾患
12	運動神経の伝導路		27	神経筋接合部疾患
13	知覚神経の伝導路		28	認知症
14	脳神経（Ⅰ） 第1脳神経から第6脳神経まで		29	不随意運動
15	脳神経（Ⅱ） 第7脳神経から第12脳神経まで		30	まとめ
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	75%	記述式と選択式で行う		
レポート	15%	2回実施する		
小テスト	5%	授業の初めに実施する		
平常点	5%	授業への取り組みを評価する		
その他				
自由記載	前期の成績評価法と基準は、定期試験90% + 小テスト5% + 平常点5% とする。 前期終了後、持ち点は50%とする。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
脳神経疾患ビジュアルブック	落合慈之		学研	
JJNブックス 絵でみる脳と神経	馬場元毅		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				